

第18回「日本語体験コンテスト in 成都」 実施中止について

第18回「日本語体験コンテスト in 成都」（9月26日（土）開催）は、以下の理由により、開催・実施を中止と決定しました。

【中止理由】

- ①日本からの出国条件
 - ・7月27日現在、中国渡航制限は感染症危険レベル3に該当。
 - ・出国時にPCR検査。
- ②中国への入国条件
 - ・すべての外国人の入国不可。入国制限の解除は見込めない。
(もし、入国規制が緩和された場合、陰性証明書の提示・14日間の集中隔離+7日間の自宅隔離が必要)
- ③開催・会場等について
 - ・中国国内では500名規模の集会は開催可能。
 - ・現地運営団体「成都大原日本語学校」からは、感染症予防対策は万全なので、オンライン開催の提案があった。

↓

当財団主催の「日本語体験コンテスト」では、賞品旅行で渡日し生活・文化体験の際に必要な『場面や状況に応じて自分の気持ちや意見を即興で話す能力』を審査しているため、本選会で即興3分間スピーチでの会話能力と、スピーチ後の質疑応答の様子を直接審査できないので、開催は適さない。
- ④日本への帰国条件
 - ・帰国時にPCR検査
 - ・14日間の隔離

※以上のような条件からコンテストを実施するには1か月以上の期間を有するため、中止しました。

来年度、コンテストが開催できれば、四川省の日本語学習生の皆さまからの多数の参加をお待ちしております。

2020年8月1日
(一財) 共立国際交流奨学財団
担当：柴田 彩花
岡崎 悠華